

# 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議 報告会

それは、未来をつくれるか。



## 自分ごと化会議とは

2023年5月20日

構想日本 総括ディレクター

伊藤 伸

# 自己紹介

## 伊藤 伸

- 1978年北海道本別町生まれ。
- 2000年8月衆議院議員秘書(京都事務所勤務)
  - 当時は同志社大学4年生。
- 2004年2月参議院議員秘書(国会事務所)と構想日本の兼職
  - 8時から17時が秘書、17時から21時が構想日本(翌年4月から構想日本の常勤)
- 2009年10月内閣府行政刷新会議事務局参事官(史上最年少参事官)
  - 任期付の常勤国家公務員。いわゆる政治任用。事業仕分けなど行政改革全般を担当。
- 2013年2月内閣府退職、構想日本総括ディレクター。
- 2013年9月～2020年3月法政大学非常勤講師(「NPO論」)
- 2015年7月～ NPO法人「NPOサポートセンター」理事
- 2018年4月～法政大学大学院非常勤講師
- 2020年10月～2021年9月内閣府政策参与(河野太郎大臣付)
- 2021年10月～内閣府政策参与(規制改革、行政改革担当)
- 2022年1月～ワクチン担当兼務
- 2022年8月～デジタル庁参与

## 【審議会等】

外務省「ODAに関する有識者懇談会」会長、内閣官房行政改革推進会議「歳出改革WG」委員、館山市行財政改革委員会委員長、京都府与謝野町行政改革推進委員会会長 など。

町民と行政、現場と制度、国と地方、官と民などをコーディネートする活動  
「リボルビングドア」の必要性

# 住民参加型（行政への住民参加）の手法

## これまで

### 公募方式

広報紙等で募集し、町民からの応募によって決める方法。

#### <特徴>

意識の高い人の声を聞くことができる一方で、利害関係者が手を挙げたり、参加者が特定の人に固定化する傾向。

### 推薦・一本釣り方式

団体からの推薦や首長の一本釣りで決める方法。

#### <特徴>

専門性の高い人や地域の有力者を選ぶことができる一方、毎回団体の長を選ぶことによる形骸化や参加者の固定化などの課題あり。



## これから

### 公募方式

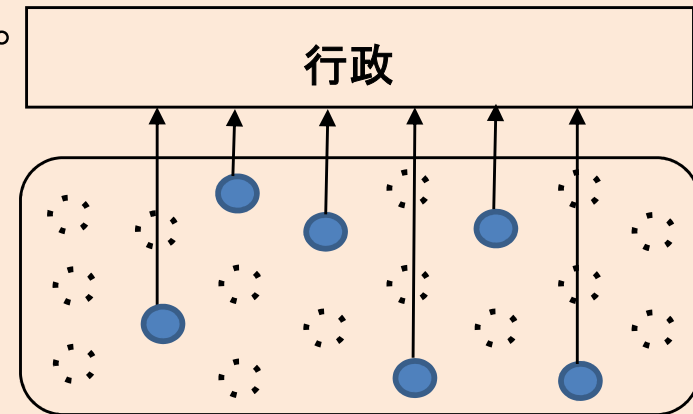
### 推薦・一本釣り方式

### 無作為抽出方式

無作為で抽出した町民に案内を送付し、その中の希望者が行政の取組みに参加する方法。

#### <特徴>

行政と接点の少なかった人、参加を躊躇していた人など、広範な町民の参加を望める。



参加手法を一つ追加するだけで、住民と行政の距離が大きく近づくことが期待できる。

# 自分ごと化会議とは①

## 【目的】

- 身近な問題を政治・行政任せにせず、住民自らが自分事として町の状況を知り意見を出し合う。
- 行政の取組について具体的に考え、課題解決を目指す。

## 【基本的な考え方】

### (1)参加する住民の選び方が無作為抽出

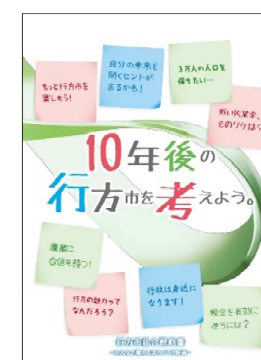
- 住民基本台帳や選挙人名簿から、無作為に抽出した住民に案内を送付し、応募のあった人が参加者として参加する。

### (2)地域の課題について、生活から見える現象をもとに住民間で議論

- 進め方のシナリオは一切作らない。参加する住民の発言から論点が生まれ議論を発展させていく。
- 行政への批判だけではなく、提案するための議論になるよう、外部の人間がコーディネーターを務める。

### (3)「個人でできること」「地域でできること」から考える

- 行政や各種団体への要望に終始するのではなく、課題解決のためにまずは自分たちでできることから考える。
- 「言いつぱなし」で終わらないように、参加者は具体的な課題とその



住民の生活実感が議論の入口  
「何をすべきか」ではなく「自分はどうか」の議論

## 改善提案シート

第 分科会

名前:

あなたが考える現状の課題

その課題を解決する方法

<例>  公園が利用されていない	(住民の役割) ・個人として 知らない公園が多いので把握する ・地域として 草刈りなど、公園整備のサポートをする 休憩用のベンチを提供する
	(行政の役割) まちの中にある遊び場のマップを作成する
	(その他)

あなたが考える現状の課題

その課題を解決する方法

議論をする中で参加委員が考えた現状の課題を記載。

	(住民の役割) ・個人としてできること  ・地域としてできること	自助
		共助
	(行政の役割)	公助
	(その他)	

その課題を解決するにあたり、個人、地域、行政それぞれの役割を記載。

# 自分ごと化会議の主な実績

## 総合計画、総合戦略

総合計画	2015年度	滋賀県高島市
総合戦略	2015年度	茨城県行方市
総合戦略	2015年度	千葉県富津市
総合戦略	2015年度	香川県三木町
第2次総合戦略	2019年度	兵庫県川西市
総合計画	2019年度	北海道清水町
総合計画	2020年度	千葉県鴨川市
第2次総合戦略	2020年度	茨城県行方市
総合計画	2020年度	京都府福知山市

## 公共施設

コミュニティ施設	2016年度	神奈川県伊勢原市
学校跡地活用	2018年度	千葉県鴨川市
駅前再整備	2018年度	神奈川県伊勢原市
市民会館の建替	2018年度	静岡県湖西市
庁舎建設	2018年度	岡山県新庄村 ※2
公共施設個別計画	2019年度	千葉県君津市
市民プール	2019年度	岡山県津山市
コミュニティ施設	2019年度	和歌山県海南市
公園	2020年度	福岡県大刀洗町
新嵐山スカイパーク	2022年度	北海道芽室町

## 健康、福祉、子育て

地域包括ケア	2014年度	福岡県大刀洗町
子育て支援	2015年度	福岡県大刀洗町
健康づくり	2017年度	群馬県太田市
子育て環境	2018年度	東京都杉並区 ※2
子どもの遊び場	2019年度	群馬県富岡市
健康づくり	2019年度	福岡県大刀洗町
介護・高齢者福祉	2020年度	岡山県新庄村 ※2

※1: 住民団体主催、※2: 議会・会派主催

## 市民と行政の協働、条例検討

地域自治団体と行政	2014年度	福岡県大刀洗町
自治振興条例	2020年度	京都府長岡京市
地域づくり推進・協働条例	2020年度	群馬県富岡市

## エネルギー

原発	2018年度	島根県松江市 ※1
原発問題	2020年度	茨城県東海村
自然エネルギー	2020年度	島根県松江市 ※1

## ごみ問題

ごみ行政	2014年度	福岡県大刀洗町
ごみ問題	2017年度	北海道恵庭市 ※2
ごみ減量	2018年度	群馬県太田市
ごみ減量	2021年度	鳥取県琴浦町
ごみ減量	2021年度	福岡県大刀洗町

## その他

防災	2016年度	福岡県大刀洗町
防災	2017年度	福岡県大刀洗町
防災	2016年度	静岡県浜松市(内閣府)
オリンピックの町	2018年度	北海道幕別町
暮らしの中の鉄道	2018年度	福岡県大刀洗町
関係人口	2019年度	鹿児島県志布志市
情報共有	2019年度	群馬県太田市
公共交通	2020年度	鳥取県琴浦町
働きやすい街	2020年度	群馬県太田市
地域コミュニティ	2021年度	群馬県太田市
防災	2022年度	群馬県太田市
防災、コミュニティ	2022年度	群馬県富岡市
公共交通、コミュニティ	2022年度	奈良県奈良市
歴史ある住宅の活用	2022年度	福岡県大刀洗町



# 芽室町自分ごと化会議開催概要

## 芽室町自分ごと化会議の特徴

### 1. 実施に至った経緯

- 昨年7月の議会研修で、伊藤が自分ごと化会議について講演。その場に手島町長がフル出席、この手法を町として実施できないか検討指示。
- 事務局はすぐに検討に着手、12月に第1回開催。検討開始から4か月程度の実施は異例のスピード。

### 2. 若い世代が中心の参加者

- 住民基本台帳から無作為に選ばれた2000人（16～75歳）の中から応募のあった46人（2.3%）の町民が応募。
- 応募者の7割が49歳以下。女性は26%。
- 30代から60代の世代別応募率はあまり変わらない。

### 3. 議論の仕方

- 新嵐山スカイパークの今後の活用のあり方についてコーディネーターと自分ごと化会議委員、芽室町職員による議論が中心（2班体制で同時進行）。
- 第3回にはナビゲーターとして、金清典広さん（高野ランドスケープ株式会社代表取締役）、嶋田俊平さん（株式会社さとゆめ代表取締役）が参加。他自治体の事例紹介や問題提起をしてもらう。

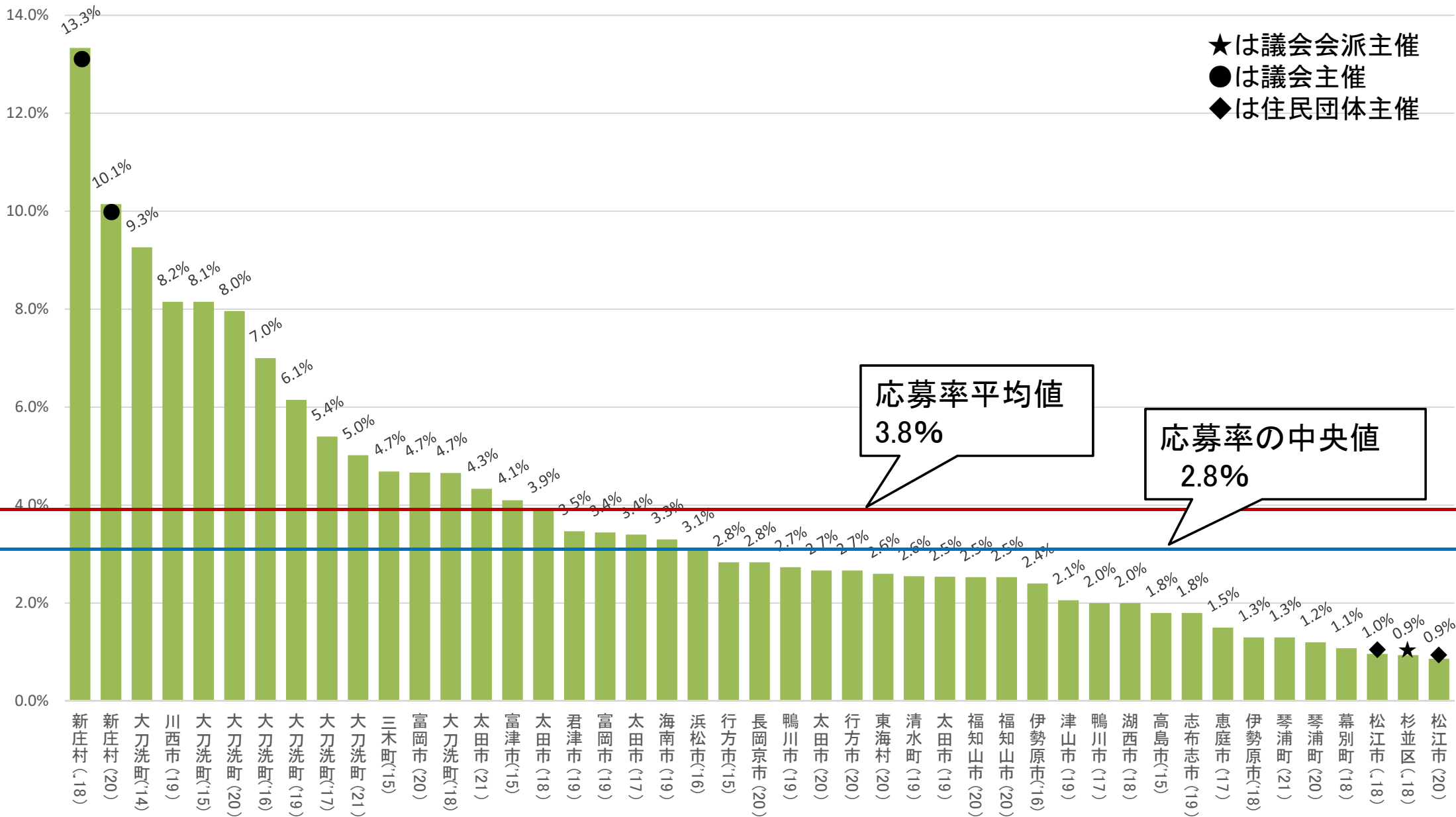
年代	対象数	応募数	男性	女性	世代別構成比	世代別応募率
16歳～19歳	100	1	1	0	2.2%	1.0%
20歳～29歳	460	8	8	0	17.4%	1.7%
30歳～39歳	460	13	11	2	28.3%	2.8%
40歳～49歳	460	10	6	4	21.7%	2.2%
50歳～59歳	240	7	3	4	15.2%	2.9%
60歳～69歳	240	5	4	1	10.9%	2.1%
70歳～75歳	240	2	1	1	4.3%	0.8%
計	2,200	46	34	12	2.3%	2.3%



会議のたびに勝毎、道新に取り上げられるほどの注目度。

議会と行政が連携したプロジェクトの好事例の一つでは。

# 住民協議会の応募率



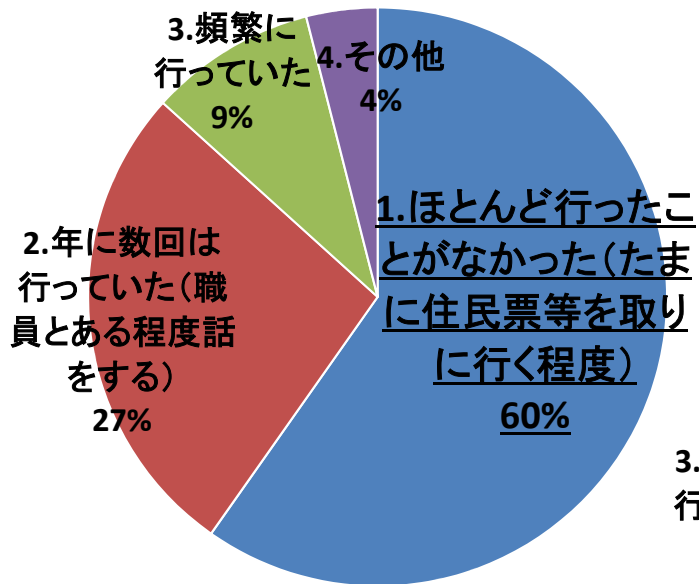
自治体によって応募率の差が大きい。芽室町は 2.3%



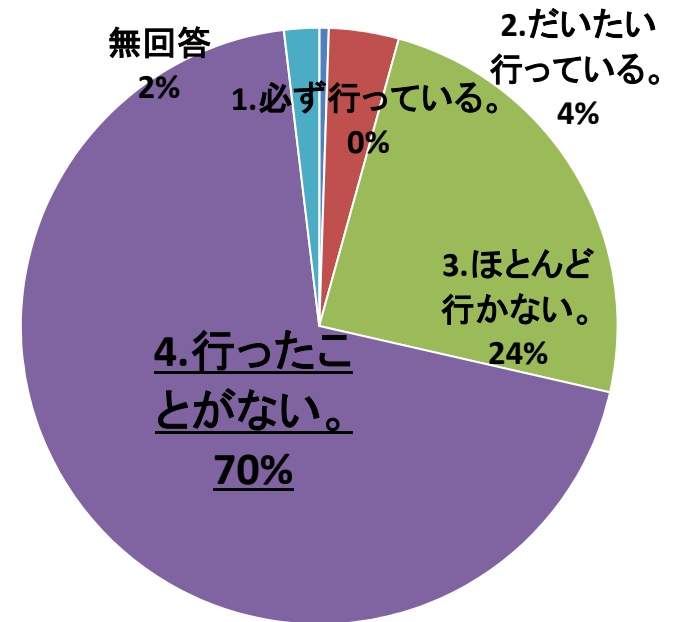
# 参考：自分ごと化会議参加住民アンケート

○「自分ごと化会議」に参加した住民へのアンケート結果\*より。

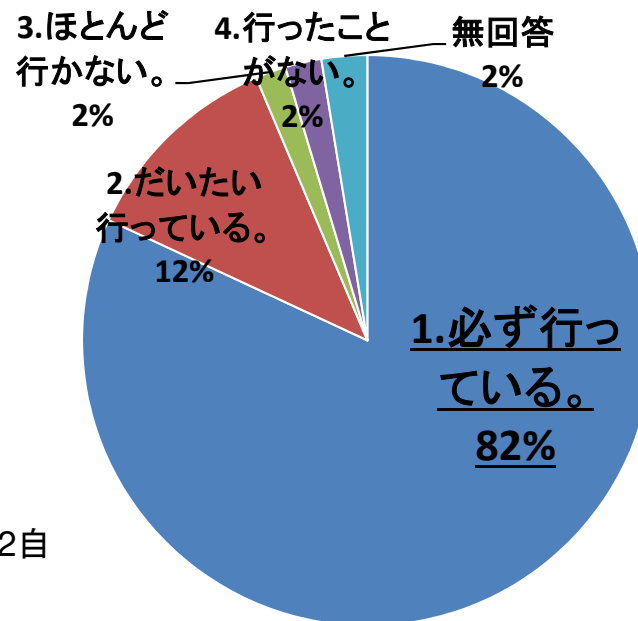
## 自分ごと化会議以前の役所との関わり頻度



## 議会の傍聴に行きますか？

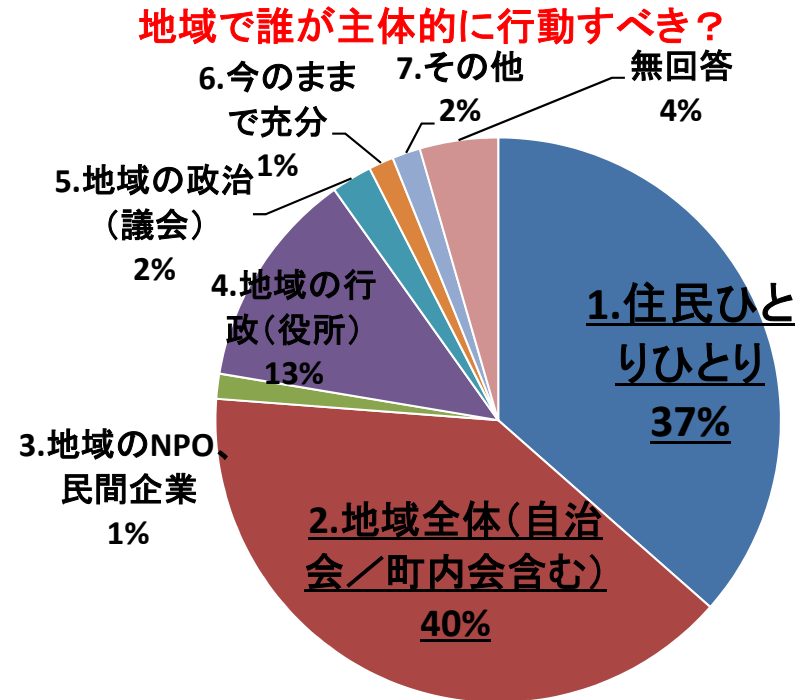
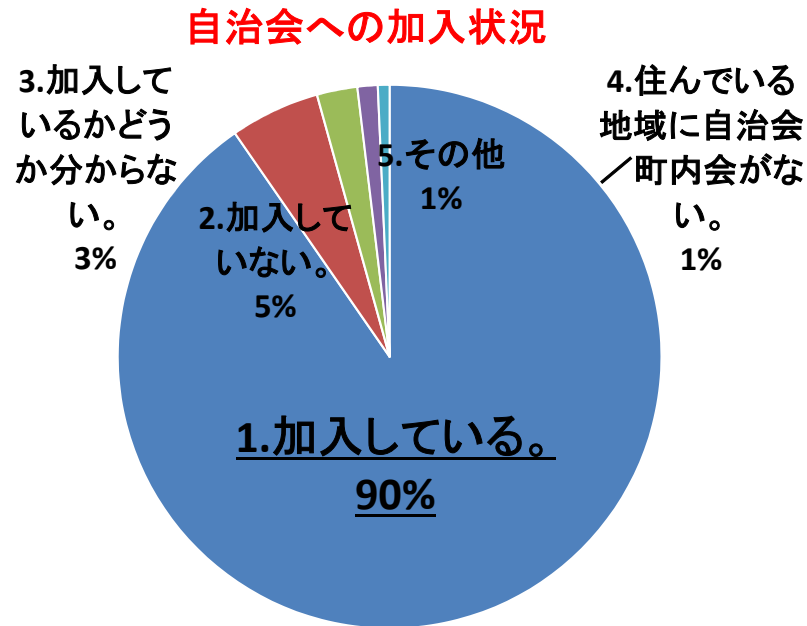


## 選挙の投票に行きますか？



\*2013,14年度に自分ごと化会議を実施した12自治体の住民約1,100名が対象。回答率52%。

# 参考：町民判定人アンケート



## アンケート結果から見えてくる参加住民の特徴

1. 役所との接点が少ない
2. しかし、投票や自治会加入など社会的な関心は高い
3. 自助、共助の意識がきわめて高い

無作為抽出は、「意識は高いが、接点のない住民」を巻き込むことができる手法。

## 無作為抽出参加住民の「その後」

### <OB・OG会の結成>

#### ● 大刀洗町

これまで6回住民協議会を実施しOB・OGが約200名。その人たちでOBOG会を結成し、定期的に勉強会や懇親会を開催(2018年には町議会を「招待」して「若者と政治」をテーマに実施)。案内状の送付や会場設営などすべて住民が行っている。参加住民が一体化されていることが特徴。

#### ● 川西市

「歴史・文化の活かし方」をテーマに議論した市民の有志が、会議終了後数か月で「まちの宝物サポート隊」を結成。議論の中で出ていた「楽しく学ぶ」ことを具現化するため、「かわにしかるた」を作成(コロナ禍の重要な遊び道具として多くのメディアに取り上げられる)。現在もLINEグループを作って情報共有。

### <個人の変化>

1. 協議会に参加して以降、地域のことを「自分事」として考えることの必要性を感じて、自分が住む地域の「女子会」(勉強会)を結成。(富津市、40代女性)
2. 学校への関わりが必要だと感じ、PTA会長の選挙に立候補、就任。(大刀洗町、40代男性)
3. 行政の仕事に関心を持ち、公務員採用試験を受験。(大刀洗町、20代女性)
4. 協議会に参加したことで、心の病を患った自分の経験を活かせることもあると感じ、子育ての悩み相談に関するサークルを立ち上げた。(太田市、30代女性)
5. 参加していた市民の有志(もともと知り合いではない)で地域のことを考えるためのNPO法人を結成。

「自分ごと化」の先の行動の変化も起きている。

## これからのまちづくりの基本的な考え方

いかに小さくして「質」を高めるか

- 町の規模
- 公共施設 など

財政的観点だけでなく、「住民のため」に規模を縮小することが大前提。

住民がいかに町のことを「自分ごと化」できるかがポイント

# 自分ごと化会議

多様な住民がしっかりと考え議論すれば、自ずと良い結論が導き出される。

私に関係ある？ ある！

# 自分ごと化会議の魅力を詰め込んだ一冊！

gleam BOOKS

あなたも当たるかもしれない、  
「くじ引き民主主義」の時代へ



伊藤伸

## 河野太郎氏推薦！

コロナワクチン接種の推進で、私の右腕を務めてくれたのが伊藤さんです。彼のおかげで1日160万回のワクチン接種が実現できました。この本には、常に現場に向き合って課題を解決しようとする伊藤さんの本質が詰まっています。現場と制度、国と地方、官と民、あらゆるものをコーディネートできるのは伊藤さんしかいません。 河野太郎



購入はこちらから！ (Amazon HP)

(本書抜粋)  
「まちづくりや政策のことを考える会議の参加者候補に、抽選で当たりましたのでこの会議にご参加ください」—— このような手紙が市町村役場から届いたら皆さんはどう感じられるだろうか？ 実は、こうした会議が、いま全国各地で行われている。くじで選ばれた参加者の生活実感からくるふとした一言や素朴な疑問は、政治や行政の「当たり前」を軽々と超えていく。貴族院議員だった上山満之進の「多数無名の常民こそが歴史を作る」という言葉に非常に共感する。無作為に選ばれた市民による対話は、あらゆる課題を解決に向かわせている。本書によって、「多数無名の常民」のパワーを世の中に広め、全国至るところで、そして国においても「自分ごと化会議」が行えるよう、引き続き邁進した

## (参考)対話と会話の違い

辞書をひくと・・・

「対話」:向かい合って話し合うこと。

「会話」:複数の人が互いに話すこと。



違いが良くわからない・・・

平田オリザ氏(劇作家)の整理

対話

- 異なる価値観のすり合わせ、差異から出発したコミュニケーションの往復に重点を置く。他人と交わす新たな情報交換や交流のこと。

会話

- お互いの細かい事情や来歴を知った者同士のさらなる合意形成に重きを置く。すでに知り合った者同士の楽しいお喋りのこと。日常会話のお喋りには、他者にとって有益な情報はほとんど含まれていない。

対話は、他者との異なった価値観の摺り合わせ。その過程で、自分も相手も当初の価値観が変わってもよいし、その変化が喜びに感じることにもなる(気づき)。

いま、世の中に言葉は溢れているけれど、「対話」が少ないのでは？

⇒ 自分の価値観を絶対視してしまいがち(特にネット空間)



## (参考) 職場内での対話の重要性

### 対話のポイント(伊藤の主観)

#### 1. 質問をどのくらいできるか？

- 質問するためには相手の話を「聴」かなければならない。「話を聴く」≡相手に関心を持つ。質問によって物事の本質が浮き彫りになることが多い。

※「聞く」は音や声を耳に感じ認める意味、「聴く」は聞こえるものの内容を理解しようと思って進んでいく意味

- 「べき論」ばかりだと対話が生まれない。

#### 2. 「同じ目線」を意識する

- 「誰が言うか」ではなく、「何を言うか」。上司だからすべて正しいわけではない。
- レッテルを貼らない。ニュートラルに捉える。レッテルを貼る＝価値観のすり合わせにならない。

#### 3. 使う言葉に気を付ける

- 難しい言葉を並べても相手には伝わらない。そもそも難しい言葉は「知ったふり」がしやすく、自分が本当の意味がわからず使うこともできてしまう。

対話は自分の頭の整理につながる。それは、仕事や自分の生活の楽しさを増すヒントになるのでは。